



# アスパラくん情報

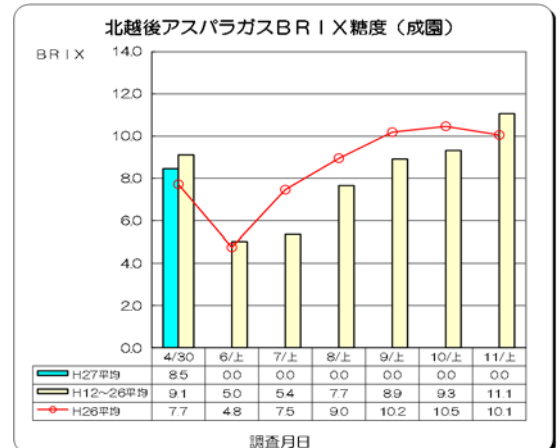
《第1号：平成27年5月8日》  
北越後農業協同組合  
青果物集出荷センター

《ハウスの早期どりは良好！露地は昨年の茎枯病の影響が大きく  
萌芽の細い株から早めの立茎で草勢の回復をはかりましょう！！》

## (1) Brix 値 (8.5) まだまだ、低い！ 早期立茎で回復を!!

Brix 値は、昨年よりも上昇しているが、まだまだ、低い数値です。

春どりも、ハウス栽培が安定した萌芽をしていますが、露地は前年の枯上がり状況により個人差が大。よって、今年も春どりは無理せずに、早期立茎で Brix 値の回復を図りましょう。



## (2) 前年の枯上がり程度による立茎判断！

前年の枯上がり状況と春芽の萌芽状況より、下記の表を参考に立茎するタイミングを見極めて下さい。(少し早いかな？で立茎を始めて下さい)

枯上がり状況	立茎するタイミング	萌芽の様子
～9月中旬	春どりはせず立茎	細い茎や欠株が多い
～10月中旬	春どり1週間	L～Mサイズが中心
～11月下旬	春どり2～3週間	Lサイズ以上が中心

◎圃場内で、枯上がりの状況の異なる場合は、薬剤防除と並行して、順次立茎を行う。

## (3) 初期の立茎を大事に秋まで茎葉の維持を！

### 立茎のポイント

- ①春どりは無理せず、余力のあるうちに立茎へ移行する。
- ②りん芽群を増やすため、茎と茎の間隔はおおよそ 20 cmがベスト (風通しと薬剤散布の効果が向上)  
株当りLサイズ 4～5本 (収穫1年目は5～6本)
- ③立茎開始は週間天気予報を確認し、天気続く時にスタート！
- ④強風対策に、アスパラネットで倒伏防止の徹底！  
しおれによる更新立茎の軽減 (効果大)
- ⑤薬剤防除の徹底…右記の通り



#### (4) 薬剤防除は若茎～展開終了期の立茎開始から1ヶ月が勝負!!

今年、立茎開始3日前から薬剤防除スタート、茎葉の展開が終了する約1ヶ月は、集中防除を実施して下さい。

##### 【薬剤防除暦】

回数	防除間隔	区分	薬剤名	希釈倍率	使用回数	展着剤
1回目	立茎開始3日前	菌	アフェットフロアブル	2000	4回	可用する
2回目	3～5日後	菌	ベンレート水和剤	2000	4回	可用する
3回目	3～5日後	菌	コサイド3000	2000	—	スカッシュ
4回目	3～5日後	菌	アミスター20フロアブル	2000	4回	可用しない
5回目	5～7日後	菌	コサイド3000	2000	—	スカッシュ
		虫	スタークル顆粒水和剤	2000	3回	

☆週間天気予報を活用し、雨が降りそうな場合は、雨の前に薬剤防除を実施して下さい。  
尚、雨で薬剤が流れない様、固着性の展着剤「K・Kステッカー」を使用して下さい。

#### (5) 立茎のタイミングが土壌改良の適期!!

##### 土壌改良の効果

根域の確保⇒貯蔵根の充実⇒草勢の回復!

##### 根量不足の原因

- ①排水不良⇒停滞水、地下水位の上昇
- ②作土不足⇒耕盤や通路が硬い、地質（粘土等）

##### 改善策

- ①明渠、追加暗渠の整備  
⇒停滞水及び地下水の改善
- ②通路の改良⇒有機物（堆肥）を施用し中耕
- ③トレンチャーによる天地返し



トレンチャーによる土壌改良

#### (6) 早期の雪解けと気温の上昇で、春どりが1週間早く出荷始まる

春どりは例年比で1週間早く出荷が始まり、ハウスの安定した出荷により、昨年の3倍の販売量です。

ハウスは、4月中旬より立茎に移行し、露地が4月中下旬より出荷が始まるが、ハウスに比べ細物の萌芽が目立つため、ピークはなくだらだらの出荷が続く模様です。

##### 【販売実績：4月28日現在】

	27年実績		26年実績
	H27.4.28現在	前年比	H26.4.28現在
出荷数量	6,838kg	327.3%	2,089kg
販売単価	1,837円	102.3%	1,795円
販売金額	12,564千円	334.8%	3,752千円
A品率	86.4%	103.5%	83.4%

##### ○出荷前には、栽培管理日誌を必ず提出して下さい!

アスパラガスのお問い合わせは

青果物集出荷センター 太田 090-4003-0224  
坂野 080-1147-0425

